



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「魔法の言葉」

ある方から、「ぜひ、これを読んで下さい」というリクエストがあった。『ツキを呼ぶ魔法の言葉』という五日市剛さんの講演筆録であった。クチコミだけでこの小冊子が六〇万部も出版されたというからものすごい。ご紹介しよう。筆者は大学院生だった二十六歳の時、一ヶ月間のイスラエル旅行に出かけた。人間関係にまずずいてイライラし、現実に行き詰まっていたためだった。しかし、到着した日は例年にならない大寒波でホテルもなく、おまけに財布をなくしたり、両替で詐欺被害に遭ったりで彼はツイていなかったと心底思った。ホトホト参っていた時、ふと気がつく、かたわらにニコニコとほほ笑むおばあさんが、「私の家に泊まりなさい」と言ってくれるではないか。どこにも泊まるあての無かった彼はこれは幸いとばかりに彼女に付いて行く。温かいスープをすすりながら、しばらく彼女の身の上話が続いた。その話の最後に彼女はこう彼に言った。「ツキというものは本当にあるのよ」と。「ツキを呼び込む魔法の言葉を唱えれば、誰でも手にはいるわ。それは「ありがとう」と「感謝します」よ。嫌なことがあっても「ありがとう」と「感謝します」は良いことがあった時に唱えること。あなたがこの魔法の言葉を忘れずにいたら、人生がガラリと変わるわ。ツキっぱなしになるの」と。彼女の話はあまりにありふれた内容であったが、彼はそれを忠実に実践した。そうすると、それまで目についていた他人の欠点が気にならなくなり、むしろ長所に見えるようになった。大学院の材料工学の分野で博士号を取得した。理想的な結婚相手にも巡り会えたとし、新規事業が成功し、世界的なシェアを開発する会社にもなったというのだ。

これを読んで「なあくん！これは聖書の引用じゃないか」と思われた方々が多いのではあるまいか。そうなのだ。第一テサロニケ5章に、「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい」(16~18)とパウロが命じている言葉だ。たとえ悲しくても「いつも」喜び、たとえ感謝できない時でも「すべて」に感謝できるように祈ってゆこうというのだ。

だがパウロはさらに、ツキやご利益や魔法があるかと無かるかと、それに左右されず、「神の賞与」(ピリピ3・14)だけをを得よと薦める。クリスチャン作家の三浦綾子さんに言わせると「天国でイエス様に頭を撫でてもらうことだ」となる。人類の究極の目的は神の愛の懐に戻るからだからである。パウロはそれを「この一事」と言った。人類の祝福はまさにこれにツキると言えよう。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

